



CORPORATE PROFILE

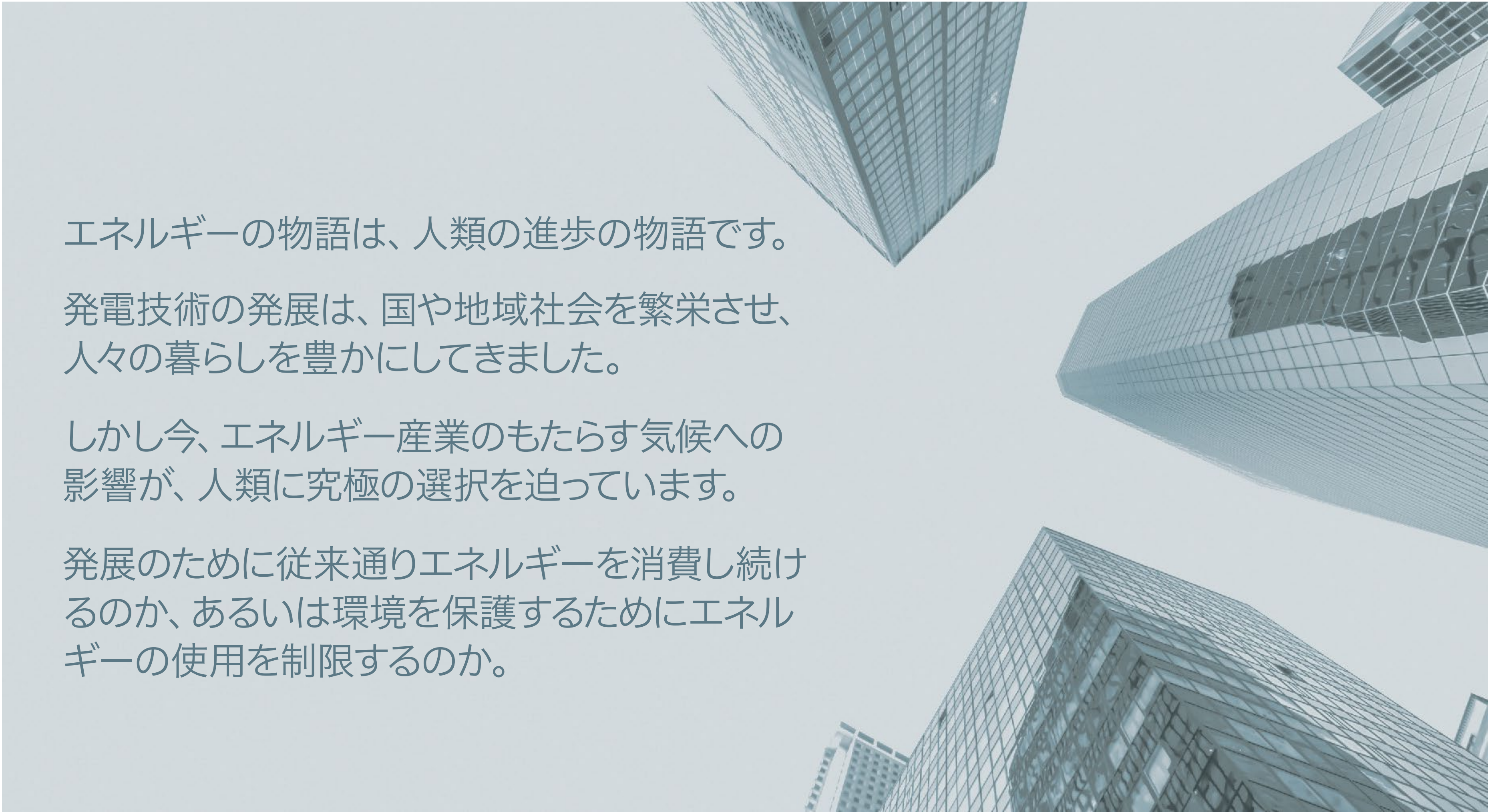
会社案内

目次

会社概要	03
製品とサービス	11
トータルソリューション	19
イノベーション	21
グローバルネットワーク	26

— 会社概要





エネルギーの物語は、人類の進歩の物語です。
発電技術の発展は、国や地域社会を繁栄させ、
人々の暮らしを豊かにしてきました。

しかし今、エネルギー産業のもたらす気候への
影響が、人類に究極の選択を迫っています。

発展のために従来通りエネルギーを消費し続けるのか、
あるいは環境を保護するためにエネルギーの使用を制限するのか。

三菱パワーは、その答えは一つではないと
考えます。

エネルギーの脱炭素化と信頼性の高い
電力供給を両立する方法は、人々や地域社会
と同様に多様性のある形になるでしょう。

私たちは、社会が直面している複雑で深刻
な課題に対して、最適なソリューションを
提供していきます。



OUR MISSION

三菱パワーは、革新的な発電
技術とソリューションにより、
エネルギーの脱炭素化と
電力の安定供給に 世界中で貢献し、
持続可能な未来の実現に取り組めます。

数字でみる三菱パワー

受注高
9,200 億円
(2020年度)

売上高
11,200億円
(2020年度)

従業員数
18,000 人
(2021年4月現在)

マネジメント

当社の経営陣は、18,000人の従業員からなるチームをリードし、世界中にクリーンで安定した信頼性の高い電力を供給するために、努力を続けています。

チーフオフィサー



河相 健 *
取締役社長、CEO



内田 勝徳
CSfO



正田 淳一郎
CTO



藤沢 昌之*
CSO兼 CFO 兼 CAO



PAUL BROWNING
CRO（北中南米・欧州・アフリカ・中東担当）

ビジネスユニット長



土師 俊幸*
GTCCビジネスユニット長



石瀬 史朗
スチームパワービジネスユニット長



中本 隆則
環境プラントビジネスユニット長

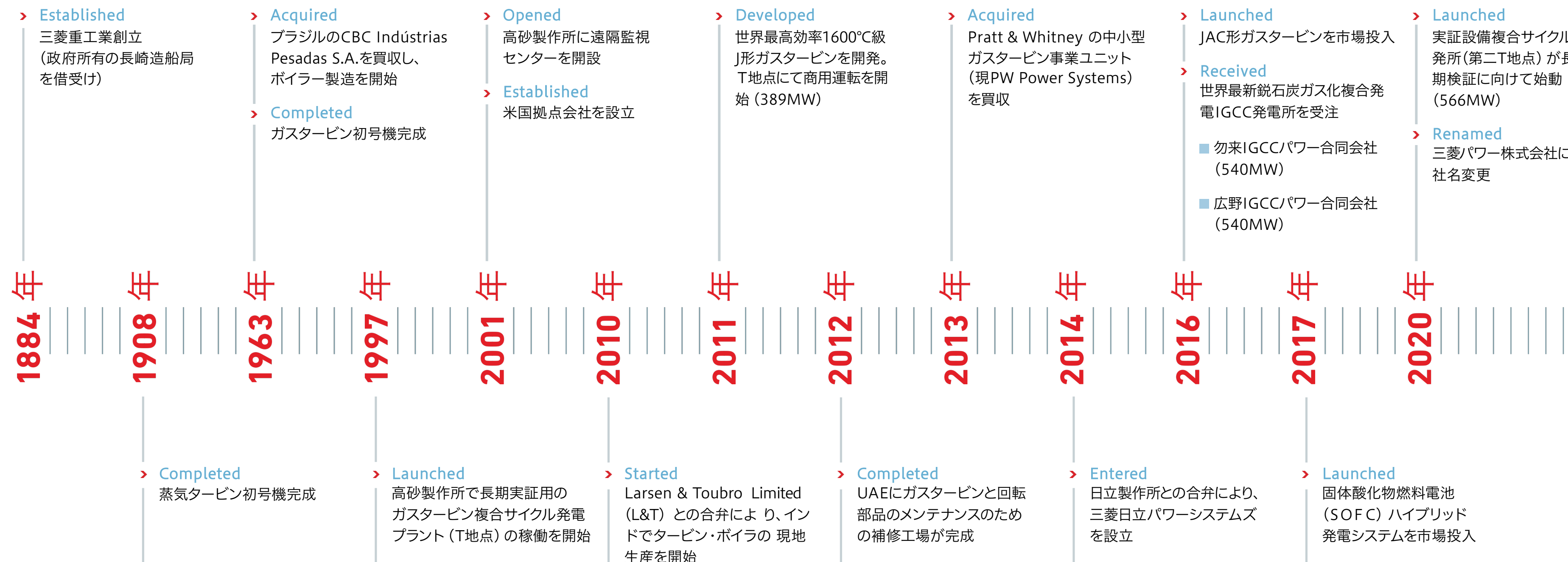


南波 宏信
サービスビジネスユニット長

* 三菱パワー取締役

注記
CEO : Chief Executive Officer
CSfO : Chief Safety Officer
CSO : Chief Strategy Officer
CFO : Chief Financial Officer
CAO : Chief Administrative Officer
CTO : Chief Technology Officer
CRO : Chief Regional Officer

沿革（1884年～）



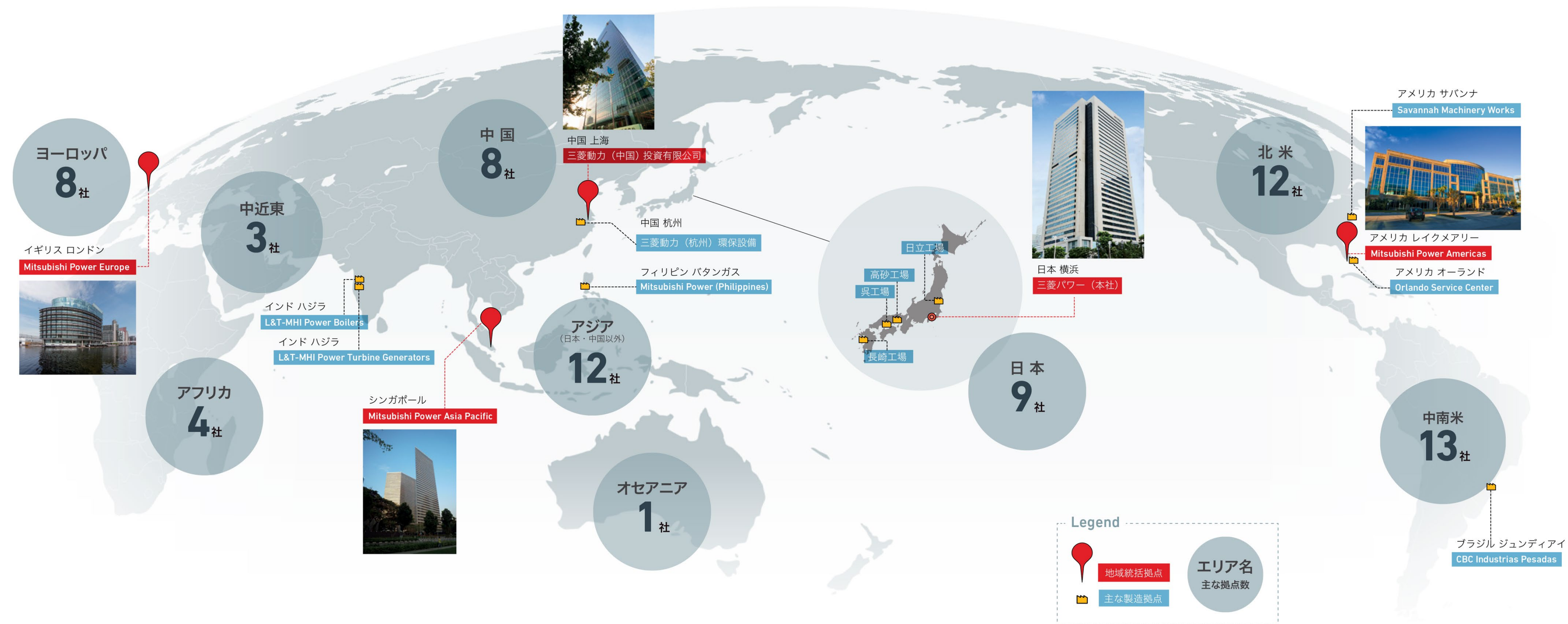
注釈：

JTCC— ガスタービンコンバインドサイクル
IGCC— 石炭ガス化複合発電システム

JAC— J形 空気冷却方式
USC— 超々臨界圧

グローバルネットワーク

当社は30カ国以上の国で事業を展開しており、当社の専門知識と長年の経験の蓄積を生かし、世界中のお客様と地域社会に貢献しています。



製品とサービス

発電ソリューション

➤ ガスタービン・コンバインドサイクル（GTCC）発電 脱炭素化に貢献する高効率発電

GTCC発電所は、ガスタービンでの発電に加え、排熱を回収して蒸気タービンでも発電することにより、高い発電効率を実現します。

当社の最新鋭のJ形ガスタービンを適用した発電所は、記録的な高効率で稼働しており、空気冷却方式を採用した最新機種「JAC（J-series Air-Cooled）」形 ガスタービンは64%以上の効率を達成しています。また、当社のGTCC発電所の出力範囲は30～1,280MWと幅広いものとなっています。これらの発電所は、従来型石炭火力と比べるとCO₂排出量を65%以上削減し、NOxおよびSOx排出量の削減にも貢献しています。

➤ スチーム発電 多彩な燃料を発電に使用可能

スチーム発電プラントは、バイオマス、副産ガス、石油ピッチ、その他の化石燃料など、さまざまな燃料を使用して発電を行います。

当社は出力1,000MW以上の高効率超々臨界圧ボイラーや蒸気タービンの豊富な実績を有しています。また、使用する多様な燃料の種類に対応可能な発電所からの排出ガスを低減するための先進的な総合排煙処理システム（AQCS）も提供しています。



発電ソリューション

▶ 石炭ガス化複合発電 (IGCC) 石炭ガス化による脱炭素化発電

石炭をガス化炉でガス化し、さらに、ガスタービン・コンバインドサイクル発電 (GTCC) と組み合わせる大型のIGCCプラントは、発電効率を10~15%向上させることができます。また、環境性能も向上しています。硫黄酸化物(SOx)、窒素酸化物(NOx)、粉じんの排出量を低減するだけでなく、水の消費量も減らすことができます。

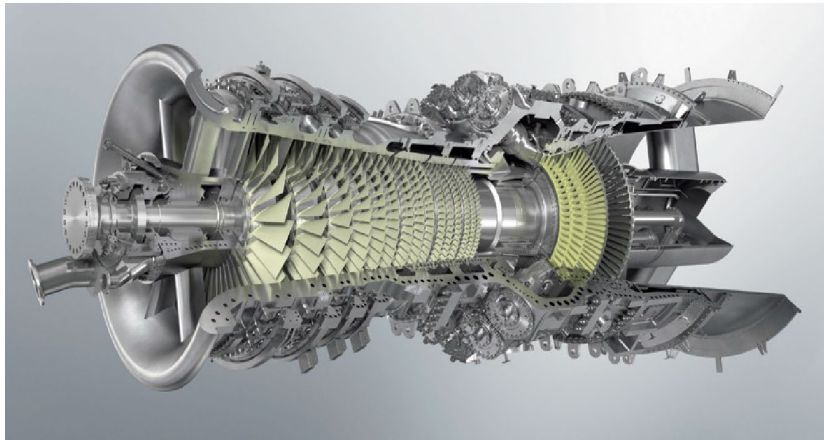
世界トップレベルの石炭ガス化技術である空気吹きと酸素吹きの2種類の技術を提供し、効率的でクリーンな発電を求めるお客様の様々なニーズにお応えしています。また、IGCCプラントに二酸化炭素回収・貯留(CCS)機能を搭載することで、発電時に発生する排出ガスの削減に貢献することができます。この技術で固体燃料をクリーンな燃料として使用できる水素とその他ガスに変換し、発生水素で発電プロセスの脱炭素化にさらに貢献します。

▶ 地熱発電 自然エネルギーを活用する最先端技術

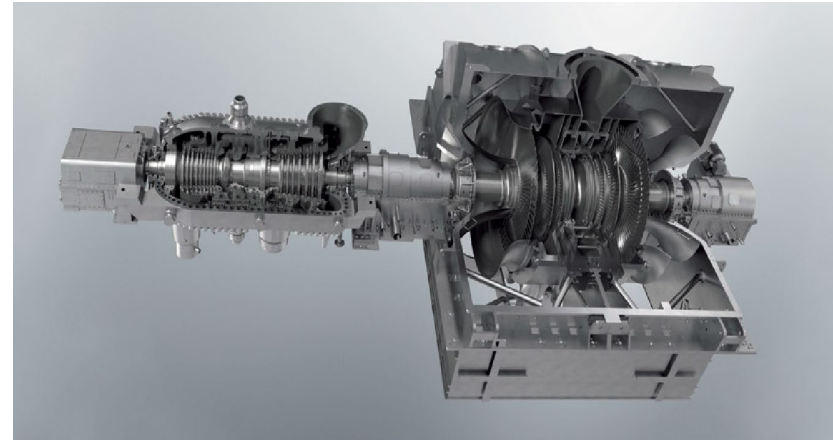
当社は出力100kWから151MWまでの地熱発電システムに関して実績があります。これまでに100基以上の地熱蒸気タービンを納入し、13カ国で3,000MW以上の発電を行ってきました。また、二相流体輸送システムとダブルフラッシュ方式の複合システムを世界で初めて採用し、この分野のスタンダードとなっています。



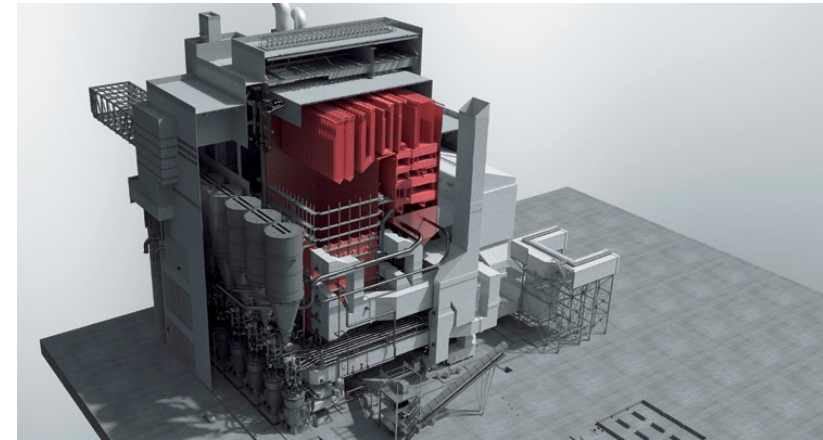
製品



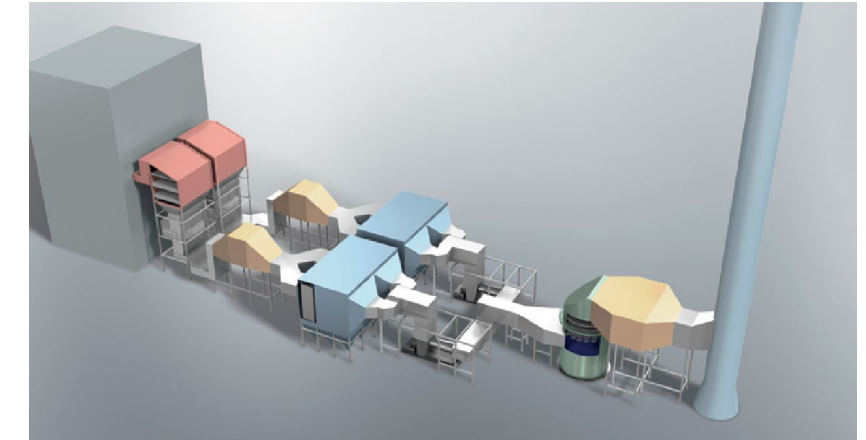
➤ ガスタービン



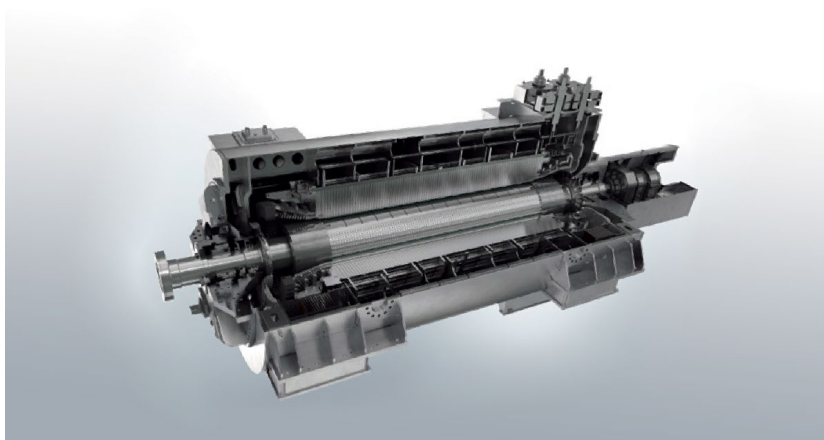
➤ 蒸気タービン



➤ ボイラー



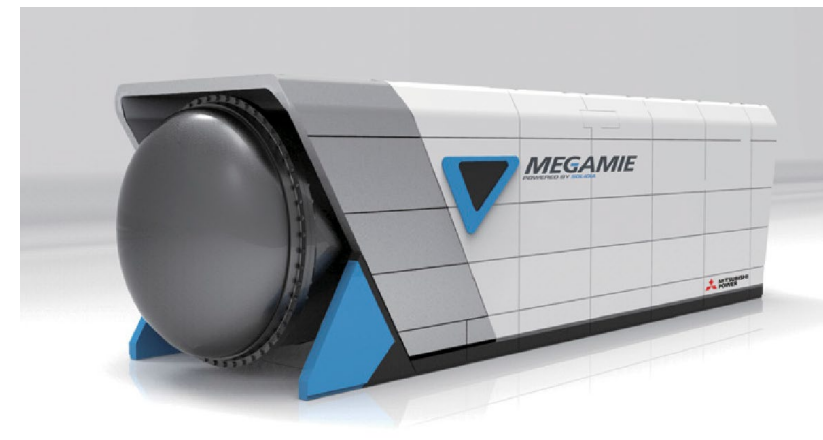
➤ 環境装置(AQCS)



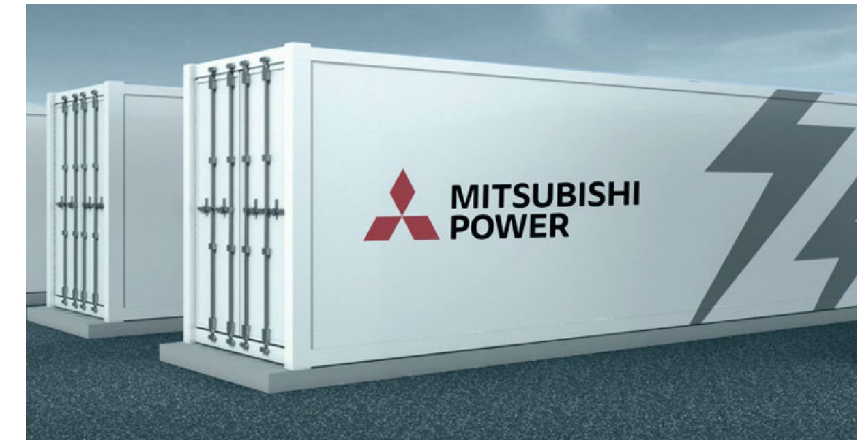
➤ 発電機



➤ 制御システム

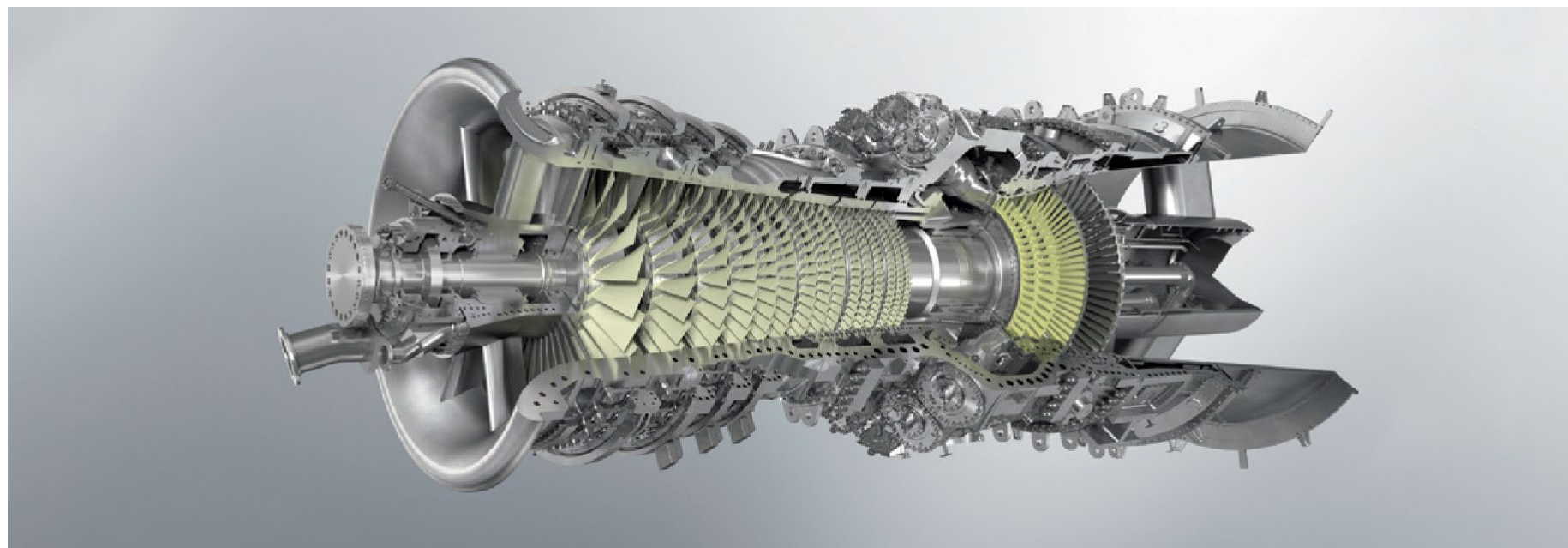


➤ 燃料電池



➤ 蓄電・蓄エネルギーシステム

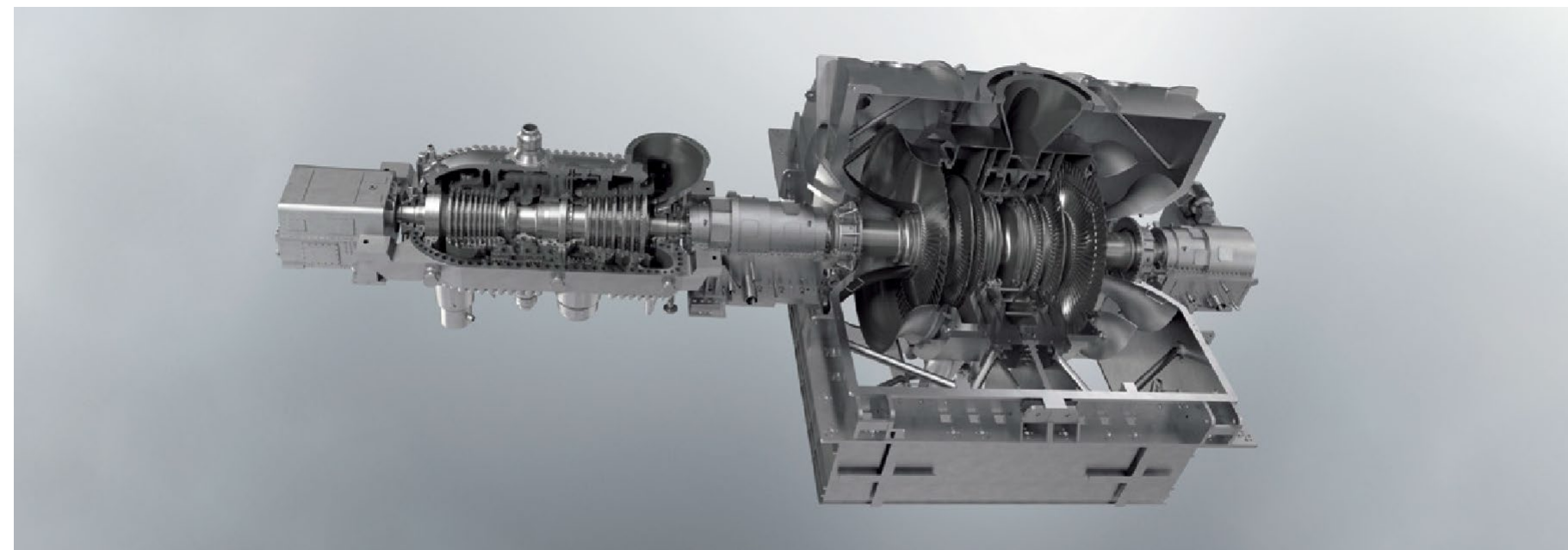
製品



➤ ガスタービン

当社は、これまでに50カ国以上の国の送電網や産業システムに1,500台以上のガスタービンを納入してきました。その中には、560MWの大容量ユニットや、三菱パワーのグループ会社である三菱パワーエアロが開発した30MWの航空エンジン転用型も含まれています。ガスタービンは常用運転に加えて、発電の変動が激しい再生可能エネルギーシステムの重要な調整電源でもあります。天然ガス以外にも、水素やアンモニアなどの脱炭素に貢献できる燃料として活用する技術の開発も行っています。

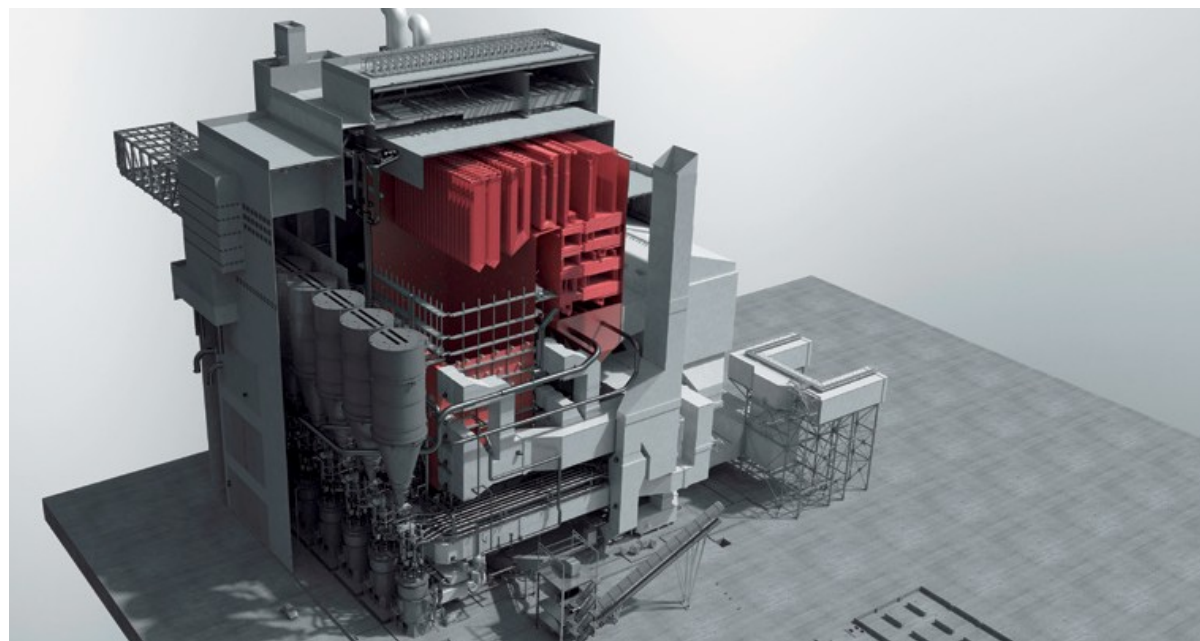
高砂工場の第二T地点は、当社のガスタービン開発の拠点です。第二T地点では、独自の長期実証プロセスにより、お客様に最も信頼性が高く効率的な発電設備を提供できるようにしています。現在、空力、冷却設計、材料などの最新技術を取り入れたJAC形ガスタービンの実証商用運転を行っています。



➤ 蒸気タービン

産業用の小型タービンから原子力発電用の大型タービンまで、幅広い用途に対応する充実した品揃えの蒸気タービンを製造しています。お客様の仕様に合わせて製造された蒸気タービンは、社内で厳格な試験を行い品質管理がなされています。当社の大型蒸気タービンは、さまざまな燃料と周波数の組み合わせに対応し、最大1,000MWの発電能力を持っています。当社では、蒸気タービンの効率向上と環境負荷低減のために、常に最先端技術の開発と適用を追求しています。

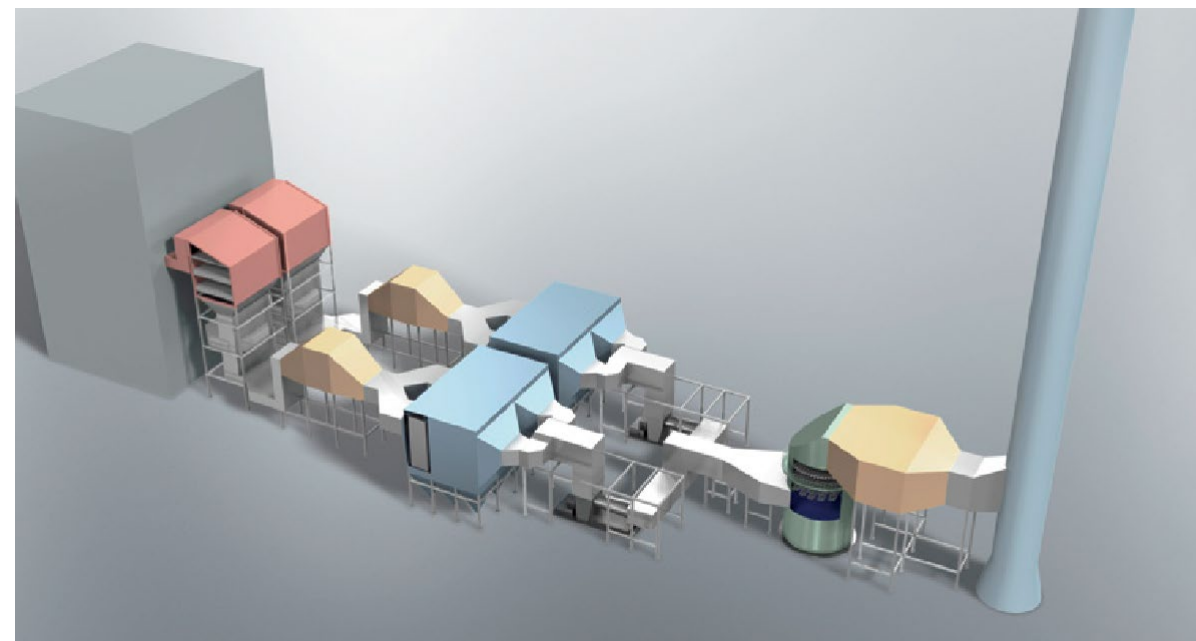
製品



＞ ボイラー

石炭、重油、バイオマス、天然ガス、アンモニアなど、さまざまな燃料に対応できるよう、独自の燃焼技術を開発しています。600°Cを超える高い蒸気温度での運転が可能で、高効率と高い信頼性を実現しています。

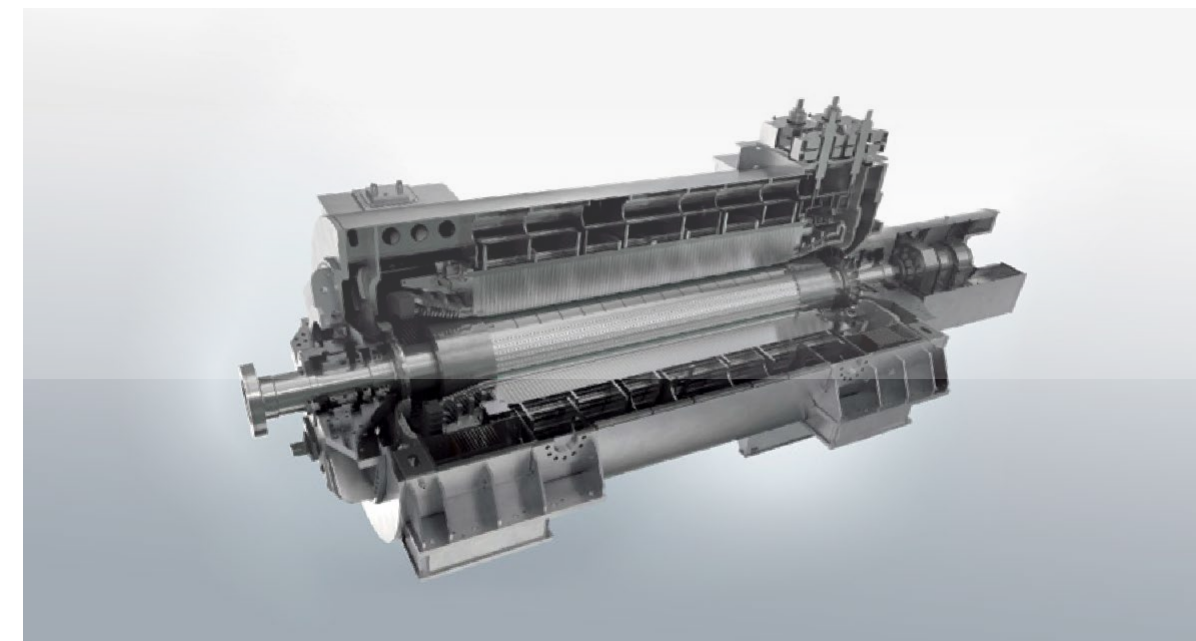
石炭燃料ボイラーにバイオ燃料を使用した実績があり、バイオマスの混焼も可能です。当社の燃焼技術は、新規開発のプラントのみならず、既存の石炭燃焼ボイラーにも適用可能であり、お客様はバイオマスを主燃料、補完燃料、混合燃料として利用することができます。



＞ 環境装置(AQCS)

当社の世界最高水準のAQCSは、窒素酸化物 (NOx) を取り除く脱硝装置、すすや煤じんを取り除く電気集じん装置、硫黄酸化物 (SOx) を取り除く脱硫装置などを排出ガスをクリーンにする技術により、発電事業者の環境負荷を低減しています。

三菱パワーはこれまでに脱硝装置1,400台以上、脱硫装置400台以上（船用脱硫スクラバーを含む）、電気集じん装置3,300台以上を設置し、環境負荷の低減に貢献してきました。



＞ 発電機

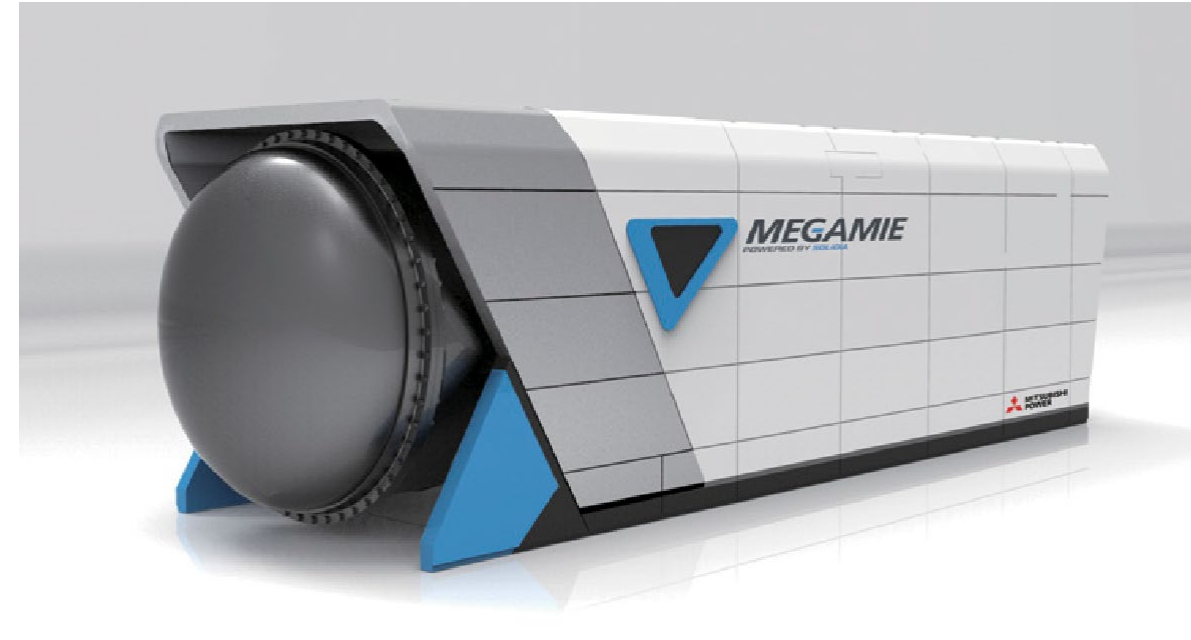
電力系統の安定化を実現する同期調相機や、研究所や研究機関向けの短絡発電機など、お客様のさまざまなニーズに対応する特殊発電機的设计・製作を行っています。当社の高効率タービン発電機は、空冷、水素冷却、水/水素冷却などの各種冷却システムを採用しています。

製品



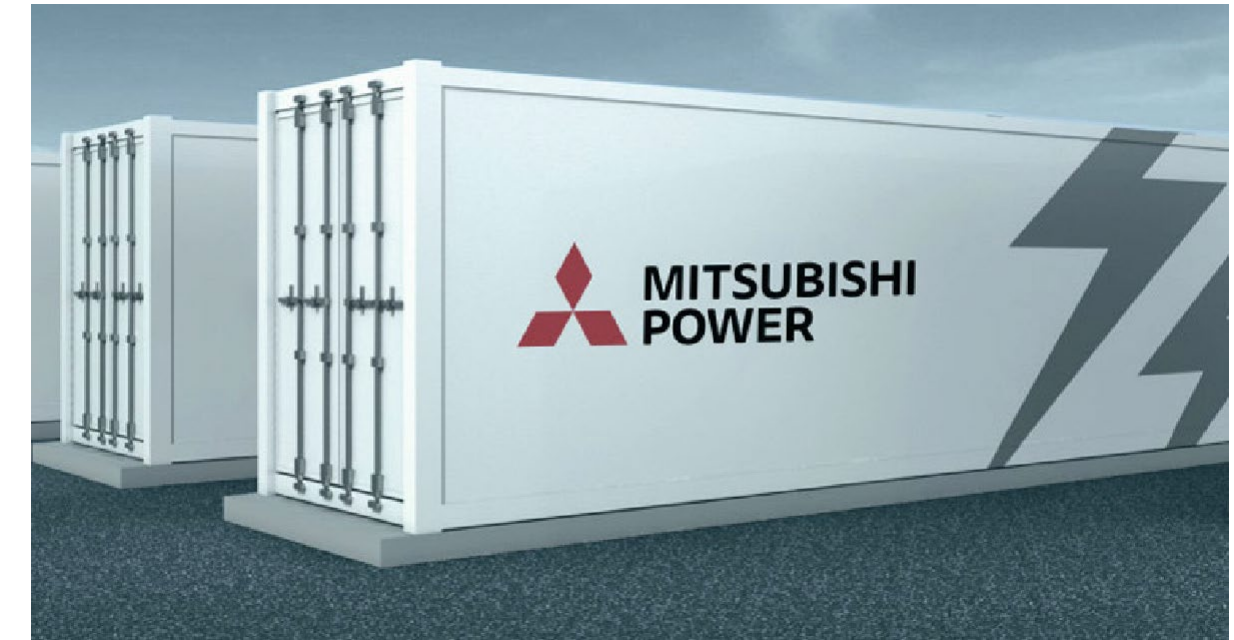
➤ 制御システム

高い信頼性と稼働率を実現し、機械設備のポテンシャルを最大限に引き出す制御システムを開発・提供しています。また、長期保守サポートやクラウドへのシステム移行、機能安全やサイバーセキュリティへの対応など、多様なサービス・ソリューションを提供しています。



➤ 燃料電池

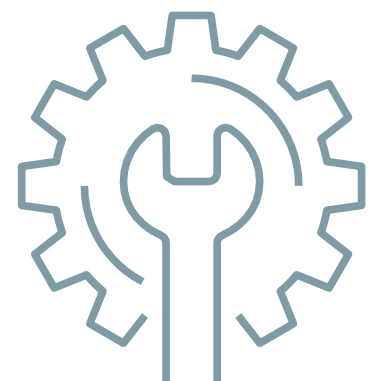
固体酸化物形燃料電池（SOFC）は、高温下で動作し、マイクロガスタービンと組み合わせることで高効率な発電システムを構築することができます。総合効率は70%以上、CO₂排出量は従来のコージェネレーションシステムの50%以下となるシステムです。柔軟性と幅広い適用性を有する燃料電池は将来の分散型電源となるものです。



➤ 蓄電・蓄エネルギーシステム

リチウムイオン電池の設計経験を活かし、蓄電システムと電力管理システムを一括請負契約（フルターンキー）で提供することができます。当社の蓄電システムは、大規模な再生可能エネルギー発電所等の出力を平準化し、消費ピークを減らすことで送電網への負荷を低減します。これらの総合的な蓄電システムは、ポータブルコンテナ内に構築されており、再生可能エネルギーを組み込んだ装置や停電時の電力バックアップとして、オフィスやマンションの複合施設に最適です。

サービスとメンテナンス



➤ オペレーション&メンテナンス(O&M)

数十年にわたる発電所の実証・運転の経験と最新のデジタルソリューションの知識を備えた当社のエンジニアが、プラントの稼働率を向上させるための総合的なメンテナンス・プランを提供します。また、プラント診断や改修コンサルティングも行っています。



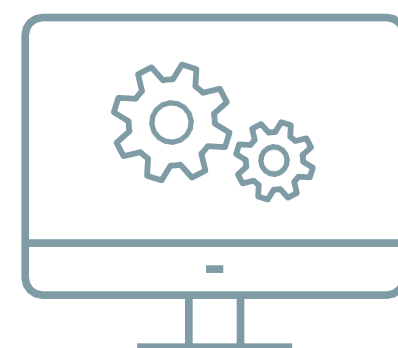
➤ 発電所向け長期サービス契約 (LTSA)

当社のLTSAソリューションは、プラントの最適化と全体的な信頼性を優先することで、お客様のリスクを最小限に抑えます。日常メンテナンス、定期メンテナンス、高品質な交換部品の供給、技術サポート、遠隔監視、データ診断システムの運用などを提供しています。



➤ 遠隔監視

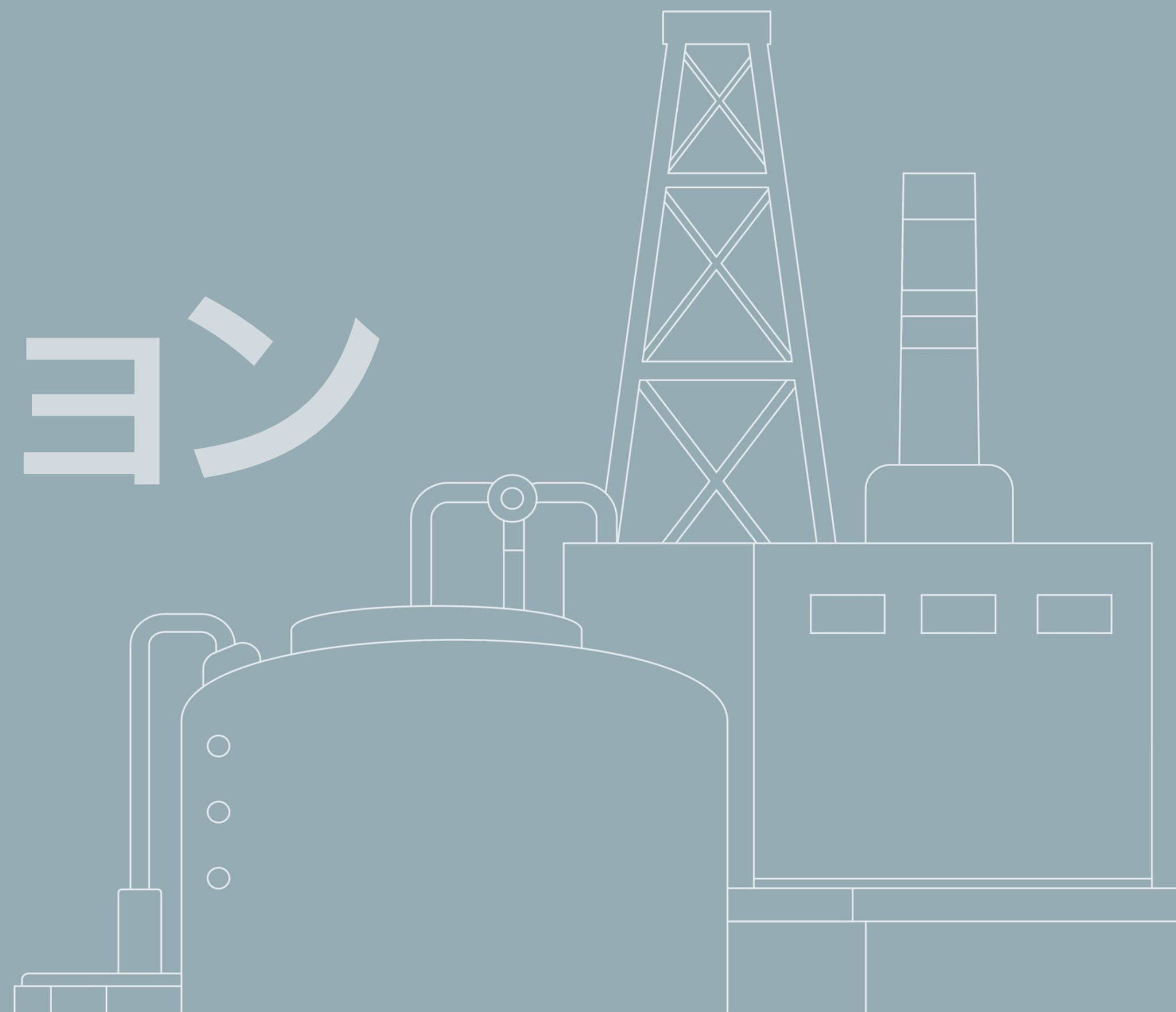
発電所の専門家が常駐して世界中のプラントの運転を24時間、365日、監視しています。早期に警報を発し、異常検知を確実にし、性能低下の診断を支援しており、お客様は情報をリアルタイムで得て、トラブルシューティングやプラント運転の最適化に活用できます。



➤ トレーニング

最新の電力技術に関する総合的な講義・研修、機械・設備の精密レプリカを使用した製品部品の組立・解体、プラント運転のシミュレーションなどを行っています。

トータル ソリューション

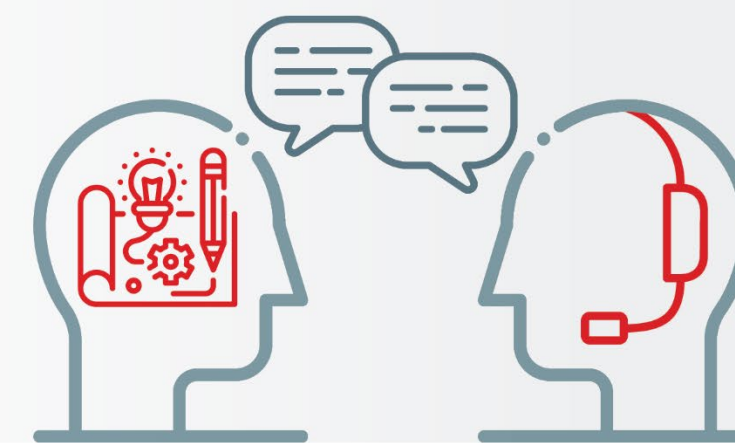


設計からメンテナンスまで

機器の設計、製造、建設、運転開始、長期メンテナンスまで、電力バリューチェーン全体でお客様をサポートします。

➤ 一貫したソリューションの提供

当社は、複雑で大規模なプロジェクトに特化した実績のある管理システムを活用し、EPCソリューションを一貫して提供することで数々のプロジェクトを成功に導いてきた、世界的にも数少ない事業者です。また、三菱重工グループの中核をなす事業会社として三菱重工グループ会社の幅広い製品やノウハウをお客様に提供しています。



➤ プラントのライフサイクルを通じてサポート

グローバルなお客様の多様なニーズに応えるために、最先端の技術、機器の予防保全、人材育成、迅速な復旧支援、長期サービス契約などを活用した運用支援と充実した保守・修理サービスを提供しています。

➤ 最新のデジタルテクノロジーの応用

当社では、最先端のアナリティクスと数十年の実績により、個々のお客様に合わせてカスタマイズ可能な発電所向けのインテリジェントソリューションTOMONII[™]を提供しています。TOMONIIは大量のビッグデータを価値ある実用的な情報に変換し、発電所の効率性と収益性を向上させます。



ーイノベーション



進化する発電所

最新のAI（人工知能）技術を搭載した発電所から、業界で最も厳格な検証プロセスを通過したガスタービンまで、三菱パワーはお客様のビジネス目標の達成をサポートし、信頼性の高い脱炭素化された電力をすべての人々に届けるために常にイノベーションを起こし続けています。



➤ 脱炭素化の加速

CO₂排出ゼロを目指すという世界的なミッションを、発電技術で達成するには、使用する燃料さえも見直す必要があります。水素はよりクリーンなエネルギーの未来を実現するための解決策となります。



➤ デジタル化の推進

電力の需要と供給の絶え間ない変化に対応するには、発電所のスマート化が不可欠です。デジタル化、人工知能や機械学習のような最先端技術の導入は、発電の未来を切り開きます。



➤ 信頼性の確保

実証設備複合サイクル発電所（第二T地点）において長期的な検証を行うことで、お客様に信頼性の高いソリューションをご提供します。

脱炭素化の加速

現代社会が取り組んでいる大きなテーマの一つが脱炭素化です。その実現に向け、エネルギー業界は大きな役割を担っています。2050年までにCO₂排出ゼロを達成するために不可欠な要素、それが水素です。

水素エネルギーは、従来の発電システムと再生可能エネルギーシステムの両方で使用することができる柔軟性を持っています。また、水素は化石燃料からバイオマス、地熱、太陽光、風力などの再生可能エネルギーによる水の電気分解などさまざまな方法で生み出すことが可能です。

➤ 水素発電の実用化へ向けた取り組み



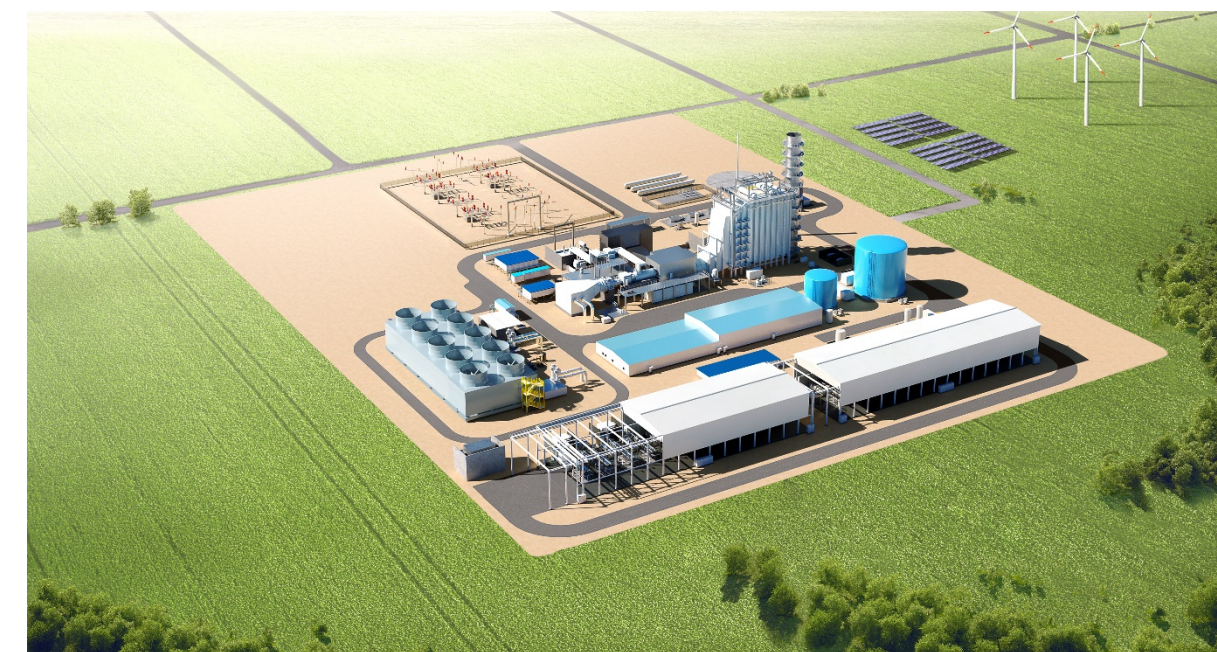
ガスタービンにおける水素混焼

大型ガスタービンにおける水素30% 混焼の検証結果では、CO₂の排出を10%削減することに成功しています。水素発電の実用化に向けた取り組みが進行中であるヴァッテンフォール社のオランダにある大型天然ガス焼きガスタービン・コンバインドサイクル（マグナムGTCC）発電所では、今後、100%水素燃料で運転することにより、CO₂排出量を年間130万トンの削減を見込んでいます。



水素の製造・貯蔵

米国の先進的クリーンエネルギー貯蔵事業では、再生可能エネルギーからの余剰電力を利用してグリーン水素を生成し、150GWh以上ものエネルギーを貯蔵可能な大規模な地下岩塩坑に貯蔵することができます。また、既存の発電所がより水素発電に対応できるよう、グリーン水素の適合に向けた世界初の標準パッケージの提供を開始しました。



事業用の水素発電

ユタ州のインターマウンテン発電所では、JAC形ガスタービンを用いて、2025年から2045年までに水素100%での運転を計画的に進めることにより、事業用規模のカーボンフリー発電を目指しています。この施設は先進的クリーンエネルギー貯蔵事業と合わせて、米国西部における再生可能な水素エネルギーの中核を担う予定です。

DXの推進

三菱パワーは、長年の発電プラントのO&M（運転・保守）とノウハウを基に開発されたインテリジェントソリューション「TOMONI™」を活用し、よりスマートな発電プラントの実現を推進しています。TOMONIは、高精度なデータ分析活用とお客様との協働により、設備価値向上や環境負荷低減において高い効果を発揮します。

TOMONIは、遠隔監視から自動自律運転に至るまで、各ステージに合わせたソリューションを提供します。アプリケーション単体やパッケージ商品のみならず、お客様と新たなアプリケーション開発など、お客様とともに様々な形で価値創造の提供が可能です。

>  **TOMONI™** TOGETHER. SMARTER. POWERFUL.



デジタルインフラ

TOMONIは、顧客ごとにカスタマイズされたプラットフォームとアップグレードにより、目標達成に必要なデータ管理と制御システムを提供します。

サイバーセキュリティ、デジタル化支援、システム更新制御、プラットフォーム有効化、遠隔監視および診断まで、TOMONIは発電プラントをよりスマートにします。



O&M最適化

TOMONIは、長年のO&M経験を活用して、発電プラントの運用と保守を改善し、有効に生産性を向上する資産管理ソリューションを提供します。

世界の遠隔監視センターから、専門的で、経験に基づく情報を提供し、お客様の意思決定を支援します。その結果、より効果的な運用と保守計画の作成が可能となり、発電プラント全体の信頼性と稼働時間が改善します。



性能向上

TOMONIは、発電プラントの性能を向上するために、実用的で複雑なデータを活用します。

エネルギー業界が競争激化する卸電力市場に移行する中で、発電能力の改善は発電プラントにとって極めて重要です。これら総合プラントソリューションは、プラントの生産性と効率性を向上し、お客様のビジネスに利益をもたらします。



運用性改善

TOMONIは、環境変化に迅速に対応するAIシミュレーション技術を採用し、発電設備の定格運転の信頼性確保と共に、急速起動、急速負荷変化、最低負荷低減などの柔軟な運転も可能にします。

運用性改善は、新しい市場需要、多様な燃料特性、再生可能エネルギー普及など、市場需要変化に迅速に対応し、アンシリャーサービス市場で新収益源を創出します。

信頼性の確保

三菱パワーは、エネルギー分野において多くの皆様から信頼をいただいています。
今後も、発電システムの最適化を通して、数十年にわたってお客様に安心をご提供します。

三菱パワーの高砂工場にある実証設備複合サイクル発電所（第二T地点）は、地域の電力網に接続されており、実際の発電所と同じ運用を行いながら長期的な実証が可能な他に類を見ない設備です。お客様のリスクを最小限に抑えながら、最先端技術に挑み続ける三菱パワー独自の取り組みの中核を担っています。

➤ 実証発電設備



新型ガスタービンの検証

当社のJAC形ガスタービンは、最も効率の良い大型ガスタービンのひとつとして知られています。しかしそれだけにとどまらず、さらなる高性能化を図るとともに、第二T地点において8000時間にも及ぶ長期実証運転が行われています。この最新鋭のJAC形は、実証に裏付けされた信頼性と効率性により、業界にさらなる変革をもたらします。



自動自律型発電所の開発

発電所の柔軟性や信頼性、性能を向上させるTOMONITMの技術は、現在、第二T地点に搭載され検証が行われています。この高性能で最先端のデジタルソリューションは、より効率的で、スマートで、さらには自動自律的に運転が可能な、発電所の未来を切り開きます。

グローバル ネットワーク



納入実績

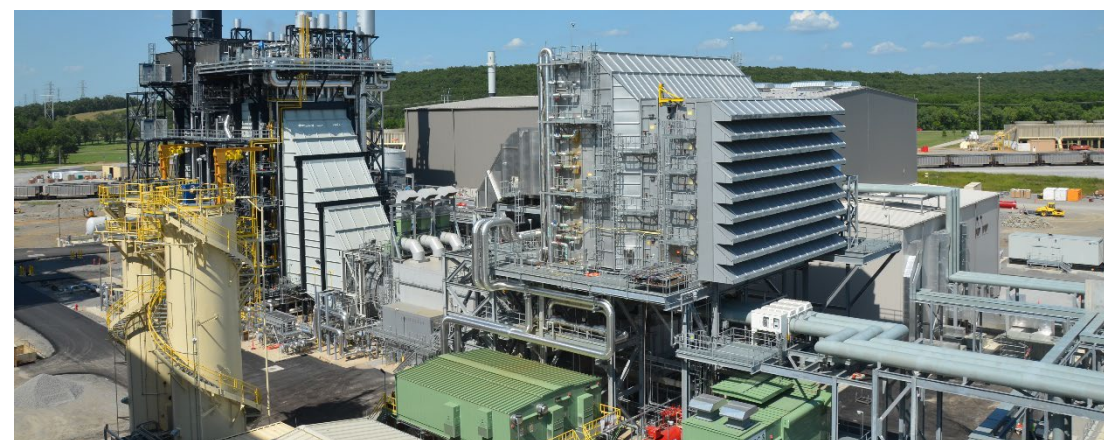
世界最大級の設備を含む当社が納めた発電プラントは、世界中の人々に電力を供給しています。

➤ ガスタービン・コンバインドサイクル (GTCC) / ガスタービン発電プラント



納入先
プラント名(国名)
出力
運転開始年

PT. PLN社
タンジュンプリオク発電所(インドネシア)
88万kW
2019年



納入先
プラント名(国名)
出力
運転開始年

Grand River Dam Authority社
グランドリバーエネルギーセンター(アメリカ)
50.5万kW
2017年



納入先
プラント名(国名)
出力
運転開始年

株式会社JERA
川崎火力発電所1、2号系列(日本)
342万kW
2009年 / 2016年



納入先
プラント名(国名)
出力
運転開始年

GULF JPN S社
ノンセン発電所(タイ)
160万kW
2014年



納入先
プラント名(国名)
出力
運転開始年

東北電力株式会社
新潟火力発電所5号系列(日本)
10万9,000kW
2011年



納入先
プラント名(国名)
出力
運転開始年

Sonelgaz社
アルジェリア
1,350MW (FT8MP×54台)
201 年 / 2014年 / 2015年 / 2017年

納入実績

➤ スチーム (ボイラー・タービン) 発電プラント



納入先
プラント名(国名)
出力
燃料
運転開始年

エネア・ ヴィトバルザニエ社
コゼニツェ火力発電所11号機 (ポーランド)
107万5,000kW
瀝青炭 / 亜瀝青炭
2017年



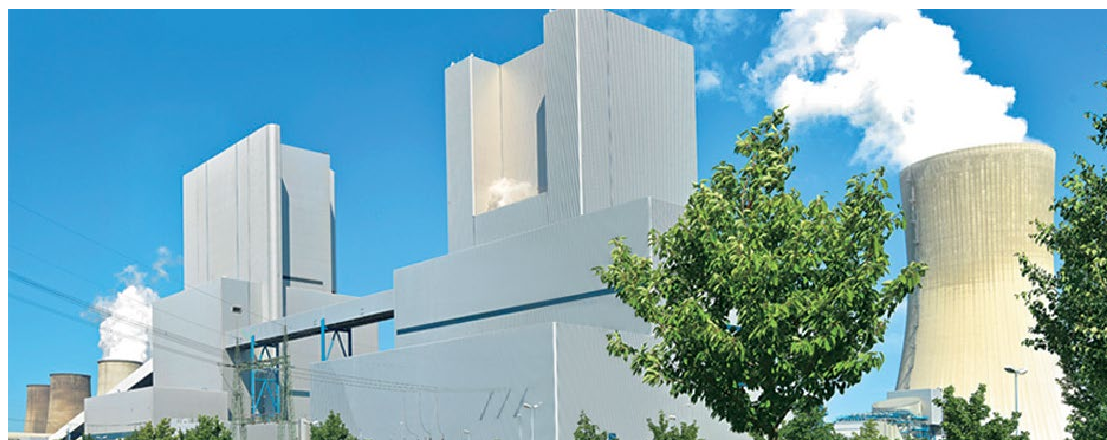
納入先
プラント名(国名)
出力
燃料
運転開始年

株式会社JERA
常陸那珂火力発電所1、2号機 (日本)
200万kW
瀝青炭 / 亜瀝青炭
2003年 / 2013年



納入先
プラント名(国名)
出力
燃料
運転開始年

パイトンエナジー
パイトンIII発電所 (インドネシア)
86万6,000kW
亜瀝青炭
2012年



納入先
プラント名(国名)
出力
燃料
運転開始年

バッテンフォール社
ボックスベルク火力発電所 (ドイツ)
67万kW
褐炭
2012年



納入先
プラント名(国名)
出力
燃料
運転開始年

キャピタルパワー社 / トランスアルタ社
ジェネシー火力発電所3号機 (カナダ)
49万5,000kW
瀝青炭
2005年



納入先
プラント名(国名)
出力
燃料
運転開始年

日本製鉄株式会社
大分製鉄所 (日本)
33万kW
石炭、副生ガス
2002年

納入実績

環境プラント 脱硝装置 (SCR)



納入先
プラント名(国名)
出力
運転開始年

Hidroeléctrica del Cantabrico
S.A
Aboño PS 2号機 (スペイン)
55万6200kW
2017年



納入先
プラント名(国名)
出力
運転開始年

株式会社JERA
上越火力発電所1-1、1-2号機 (日本)
119万kW
2012年 / 2013年



納入先
プラント名(国名)
出力
運転開始年

エクセルエナジー社
アレン・エス・キング発電所 (アメリカ)
59万8,000kW
2007年

脱硫装置 (FGD)



納入先
プラント名(国名)
出力
運転開始年

株式会社JERA
常陸那珂火力発電所2号機 (日本)
100万kW
2013年



納入先
プラント名(国名)
出力
運転開始年

電源開発株式会社
橘湾火力発電所1号機 (日本)
105万kW
2000年



納入先
プラント名(国名)
出力
運転開始年

Electrownia Kozienice S.
Kozienice PS3-6号機 (ポーランド)
80万kW
2006年

納入実績

➤ 地熱発電プラント



納入先
プラント名(国名) レイキャビク・エナジー社
ヘッドリスハイディ地熱発電所 (アイスランド)
出力 25万kW
運転開始年 2006年-201 年



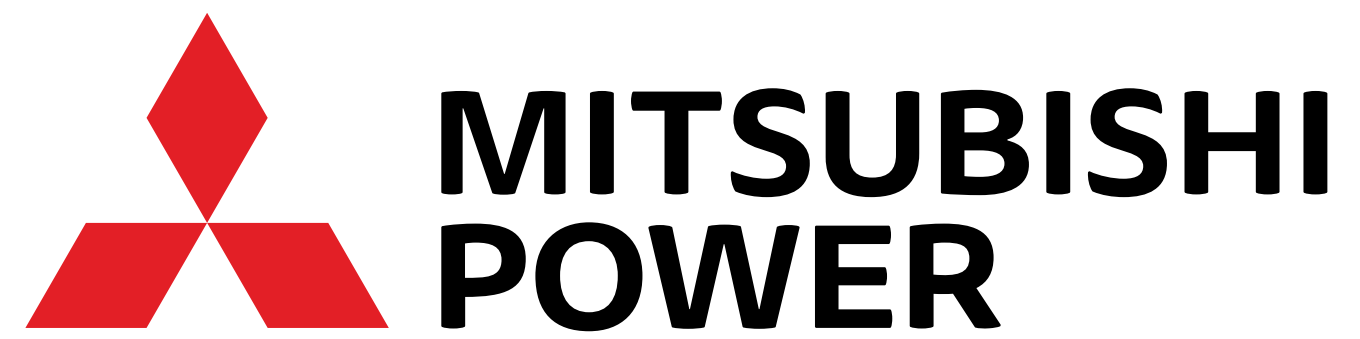
納入先
プラント名(国名) コスタリカ電力公社
ミラバジェスIII発電所 (コスタリカ)
出力 2万7,000kW
運転開始年 2000年



納入先
プラント名(国名) ケニア電力公社
オルカリアII発電所 (ケニア)
出力 10万5,000kW
運転開始年 2003年 / 2010年



納入先
プラント名(国名) 九州電力株式会社
八丁原発電所1、2号機 (日本)
出力 11万kW
運転開始年 1977年 / 1990年



MOVE THE WORLD FORWARD

MOVE THE WORLD FORW▶RD

mitsubishi
heavy
industries
group